



2026年3月2日  
日本銀行札幌支店

# 北海道金融経済概況

2026年2月

<本件に関するお問い合わせ先>  
日本銀行札幌支店 営業課（電話011-241-5232）  
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/sapporo/>

<当店ホームページ>



# 全体感

北海道の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。

すなわち、公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。観光は、足もと地政学リスクによる影響も一部にみられるが、基調としては堅調に推移している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、緩やかに増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。生産は、一部に弱めの動きが引き続きみられるほか、鉄鋼で一時的な生産減が生じているものの、基調としては横ばい圏内の動きとなっている。

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

# 項目別判断の前回との比較

		前回	今回	変化
総括判断		一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。	→
需要項目	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。	→
	輸出	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。	→
	設備投資	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。	→
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。	→
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。	→
生産		一部に弱めの動きが引き続きみられるほか、鉄鋼で一時的な生産減が生じているものの、基調としては横ばい圏内の動きとなっている。	一部に弱めの動きが引き続きみられるほか、鉄鋼で一時的な生産減が生じているものの、基調としては横ばい圏内の動きとなっている。	→
雇用・所得		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。	→

# 総括判断の推移

	公表日	前回比	総括判断
2024年2月	2/28日	→	持ち直している
3月	4/1日	→	同上
4月	4/22日	→	同上
5月	5/29日	↘	一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している
6月	7/1日	→	同上
7月	7/25日	→	同上
8月	会見なし	(→)	(同上)
9月	10/1日	→	同上
10月	10/25日	→	同上
11月	11/22日	→	同上
12月	12/13日	→	同上
2025年1月	1/29日	→	同上
2月	2/28日	→	同上
3月	4/1日	→	同上
4月	4/24日	→	同上
5月	5/28日	→	同上
6月	7/1日	→	同上
7月	7/25日	→	同上
8月	会見なし	(→)	(同上)
9月	10/1日	↘	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している
10月	10/31日	→	同上
11月	11/28日	→	同上
12月	会見なし	(→)	(同上)
2026年1月	1/16日	→	同上
2月	3/2日	→	同上

# 各論

## 1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、緩やかに増加している。

設備投資は、緩やかに増加している。

12月短観（北海道地区）における2025年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

**個人消費**は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。

百貨店は、足もと地政学リスクによる影響も一部にみられるが、基調としては横ばい圏内の動きが続いている。スーパー、コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、堅調に推移している。家電販売は、緩やかに持ち直している。乗用車販売は、横ばい圏内の動きとなっている。サービス消費は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに増加している。

観光は、足もと地政学リスクによる影響も一部にみられるが、基調としては堅調に推移している。

**住宅投資は、弱めの動きとなっている。**

新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家は、弱めの動きとなっている。  
分譲は、下げ止まっている。

## 2. 生産

**生産（鉱工業生産）は、一部に弱めの動きが引き続きみられるほか、鉄鋼で一時的な生産減が生じているものの、基調としては横ばい圏内の動きとなっている。**

### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、2%台前半のプラスとなっている。

### 5. 企業倒産

企業倒産は、横ばい圏内の動きとなっている。



## 6. 金融情勢

預金残高は、前年を上回っている。

貸出残高は、前年を上回っている。

貸出金利は、上昇傾向にある。